

報道機関各位

千葉大学 普遍教育センター長
舟島なをみ

千葉大学普遍教育科目「伝統文化をつくる」学生の取り組み成果広報（新聞掲載等）について（依頼）

本学普遍教育におきましては、学生が自由に選択できる科目として教養展開科目を開講しております。中でも「地域をつくる」という科目では、地域とのかかわりを学び、さらに調査や実習を通して地域を知り、観光振興、地域文化振興、地域づくりを学生たちが立案する授業となっています。標記の「伝統文化をつくる」では、前期開講の授業（A）に丸井敬司先生（千葉市郷土博物館前館長）後期開講の授業（B）に小笠原匡先生（和泉流狂言師）をお迎えし、受講生とともに、地域の伝統文化を学び、新たな伝統文化の創作に取り組んでいるところです。

このたび千葉市教育委員会（千葉市郷土博物館）にご協力いただき、前期授業の成果として、企画展「創作狂言大仮面展」を開催しております。現在、市民の皆さんに学生たちの取り組みと展示を広くご覧いただきたく、ポスター広報など関係各位にお願いしておりますが、さらなる広報活動に努めているところです。

ご多用中のところ、誠に恐縮ですが、地域づくりの一取り組みとしての本学授業について、御社取材のご協力を賜りたく、お願いの一文を送らせていただいた次第です。「伝統文化をつくる」授業につきましての概要および企画イベントにつきましては、下記「平成21年度 千葉大学普遍教育「伝統文化をつくる」について」をご参照いただければ幸いです。何卒よろしくご申し上げます。

平成21年度 千葉大学普遍教育「伝統文化をつくる」について

前期授業「伝統文化をつくるA」

講師：丸井 敬司 先生（千葉市郷土博物館前館長）

受講者：9名（文学部 教育学部の学生が主体）

企画イベント：企画展「創作狂言大仮面展」（平成21年7月7日～26日千葉大学附属図書館1階展示ホールにて開催中。8月8日～26日まで千葉市郷土博物館2階展示室にて開催予定）

概略：後期授業の創作狂言制作を視野に入れながら、先輩たちが制作した創作狂言の仮面を引継ぎながら、自分たちなりにイメージを作り上げ、新たな展示として「形」にしています。現在、附属図書館展示ホールで展示中（～26日）ですがここでの反省を活かして、8月8日からの千葉市郷土博物館（2階展示室）での展示に意欲を出しています。千葉市郷土博物館（千葉市教育委員会）からの協力を得て、大学発の新たな地域文化を市民の皆さんに是非ご覧いただきたいと考えています。



初めて「仮面」を前にした学生たち



図書館での展示に熱心に取り組む学生

後期授業「伝統文化をつくるB」

講師：小笠原 匡 先生（和泉流狂言師）

企画イベント：創作狂言「ヲトタチバナ」（平成21年12月5日青葉の森公園芸術文化ホールにて公演予定）

概略：好評だった創作狂言「新・千葉笑い」の取り組みを継続するものです。今年は、走水の海に身を投じてヤマトタケルを房総へ渡したヲトタチバナの伝承（『古事記』など）をもとに創作狂言をつくっています。現在はAの授業の合間に台本作りに取り組んでいます。全体の公演企画は、千葉県文化振興財団にお願いし、NPO法人フォーエヴァーの皆さんのご協力をいただきながら、ともに舞台を作り上げていく予定です。

お問い合わせ先：千葉大学大学院人文社会科学研究所 助教 久保 勇（「伝統文化をつくるA」世話人）

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 043-290-2313（久保研究室）

Mail kubo@faculty.chiba-u.jp

創作 狂言 大仮面展

千葉大学付属図書館展示ホール

七月七日(火) ～ 二十六日(日)

千葉市郷土博物館二階展示室

八月八日(土) ～ 二十六日(水)

主催 千葉大学
共催 千葉市教育委員会

